

【天国への手紙

2022年6月4日放送分】

とじお
俊雄さんへ

ラジオネーム：バラライカ

最近、明け方になると、俊雄さんが出てくる夢を見ます。

俊雄さんはいつもカメラを構えて、何かを撮影しているところ姿。

それを私が後ろから見つめている夢です。

思えば、生前一緒に旅行に出かける喜び、いつも手にしていた愛用のカメラ。

メンテナンスをしながら、大事に大事に使っていましたよね。

結婚してすぐのお金の無かった頃なのに、「2人の思い出を残したい」と

大枚はたいて買ってきたカメラで、色々な写真を撮りました。

全国にあちこち出かけた旅行の思い出はもちろん、2人の子どもたちの

成長もたくさん記録して、俊雄さんが丁寧にアルバムにつけてくれたおかげで、

昔のことを思い出しては時々アルバムを開いてみたりしています。

もう15年以上前のこと。俊雄さんと二人だけで旅したイタリア旅行では、

映画「ローマの休日」の主人公気分で、街なかを歩き回り、シェラートを

食べたり、観光名所で写真を撮ったりしました。

俊雄さんがそこで私を写してくれたモノクロのスナップ写真、

あなたに話したことなかったけど、わたし、すごくお気に入りのなんです。

先日テレビで「ローマの休日」が放送されていたので、あの旅行のアルバムを開きながら、思い出を重ねていました。

5年前に俊雄さんがもう治めどけない病気を患い、それからいろいろな旅行することもできず長い闘病生活になりましたね。

病室にまでカメラを持ち込んで、時々、気分が落ち着いたときはファインダー越しに外の風景を眺めていた姿が心に残っています。

あなたが旅立ってから3年が過ぎ、ようやく少しずつ、私の心にも明るさが戻ってきました。そのきっかけが何だか、俊雄さん、わかりますか？

病室で構えていたカメラの、俊雄さんが最後に撮影したフィルムをこのあいだ思い切って「現像」してみました。

そうしたら、窓の外の風景が混じって、何枚も何枚も「私」の写真が出てきて、嬉しいやら恥ずかしいやら、涙も出てくるくらい気持ちがい溢れてきました。

私が最近見る夢は、俊雄さんがカメラを構えるところの姿でしたが、あなたが見つめた私の姿を写真に残してくれて、本当にありがとうございます。

あのカメラ、これから私も時々使わせてください。

私が見つめた風景を撮って、お仏壇に飾りますね……。